

# 低炭素社会の実現に向けて

## ～廃棄物処理と温暖化対策～

2015年9月に開かれた国連持続可能な開発サミットは、国連持続可能な開発目標SDGsを採択しました。その中には温室効果ガス排出削減も、廃棄物の適正管理も入っています。また2016年11月にはすべての国が参加する公平な実効性のある温暖化ガスの削減の法的な枠組みとして**パリ協定**が発効されました。資源の浪費、すなわち廃棄物問題に対して**求められる廃棄物マネジメントは、温暖化対策に配慮しながら資源を大切にす「3Rの推進」と「適正処理の確保」**を両輪とした循環型社会の構築であると言えるでしょう。こうした背景のもと、本シンポジウムを企画しました。

2017年 **6月23日(金)** **13:30～16:30**  
**場所** **北とぴあ つつじホール**  
 (JR京浜東北線王子駅北口徒歩2分、東京メトロ南北線王子駅5番出口直結)

**定員** 300名 (申込み締切:6月20日(火) 定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費** 日本ガス協会正会員: 3,000円 協力団体会員及び日本ガス協会賛助会員: 5,000円 非会員: 10,000円  
 自治体職員: 4,000円 学生: 2,000円

主催: (株)廃棄物工学研究所 特別協力: 公立鳥取環境大学 後援: 環境省(申請中) 協賛: (一社)日本ガス協会

**協力団体:** (一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本廃棄物コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)廃棄物資源循環学会、有害・医療廃棄物研究会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、産業廃棄物処理業経営塾、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

## プログラム

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>13:30 開会の挨拶・シンポジウム企画趣旨</b><br/>公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝</p> <p><b>13:50 基調講演:廃棄物処理における国の重点施策</b><br/>環境省大臣官房 廃棄物リサイクル対策部 廃棄物対策課 課長 瀬川 恵子 氏</p> <p><b>14:20 地方行政解説:廃棄物処理施設のエネルギー活用と温暖化対策</b><br/>川崎市 環境局施設部 担当部長 浮島処理センター所長 田中 耕治 氏</p> <p><b>14:50 休憩</b></p> | <p><b>15:00 特別講演:再生可能エネルギーとしてのごみ発電の高度利用</b><br/>東京電機大学 工学部 電気電子工学科 教授 加藤 政一 氏</p> <p><b>15:30 技術解説:エネルギー活用や省エネを考慮した処理施設整備～「計画・設計要領2017改訂版」の活用</b><br/>(一社)日本環境衛生施設工業会 技術委員会 委員長 近藤 守 氏</p> <p><b>16:00 質疑応答・パネルディスカッション<br/>廃棄物処理と温暖化対策</b><br/>コーディネーター: 田中 勝 パネリスト: 上記講演者</p> <p><b>16:30 閉会</b></p> |
|---|--|

※やむを得ずプログラム・講演者が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### お申込み方法

参加には事前の申し込みが必要です。裏面の参加申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにてお申込みください。折り返し、参加申込受付完了メールにて「**受付番号**」をお送りいたします。

●申し込み先: **FAX 086-239-5303**

●webからの申込みは、右記のホームページをご覧ください。 <http://www.riswme.co.jp>

### お振込先

●りそな銀行 芝支店(普)1490768 カ)ハイキブツコウガクケンキュウシ

参加費は事前振込でお願い致します。また、お振込いただく際、振込人名義は「**受付番号+参加代表者氏名**」としてください。振込手数料は参加者各自でご負担願います。